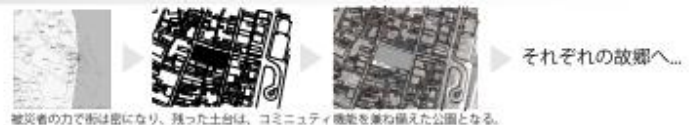


TRANSFORM —暮らしの記憶—

SUMMARY -Housing Reconstruction-

SITE -KORIYAMA in front of station-

3、11以降、福島原発から20キロ圏内の市町村に住む約8万人の被災者が、住み慣れた街を離れて暮らしている。本設計は、その様に都市部で積極的に働きたいと考える被災者の(福島県内での)セーフティネットとなると同時に、その立ち上がろうとする被災者自身の力を借りて、中心市街地の活性化を狙うことも視野に入れた復興住宅のケーススタディーである。被災者と郡山市民、それぞれにとっての復興、再生への相乗効果を期待するだけでなく、震災の記憶を風化させないモニュメントともなる。



被災者の力で街は密になり、残った土台は、コミュニティ機能を兼ね備えた公園となる。

それぞれの故郷へ...

